

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

ONE!

Kokuradaichi hospital

2024

VOL. 016

MAY



ONE!
016

2024年5月10日

糖尿病内科 藤本良士 副院長 着任

小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

私のONE!

診療支援部 検査科 主任

新田 亜寿美

プロフィール

北九州の病院で就職したいと思っていたところ、小倉第一病院から求人があり、受験しました。受験者は多かったのですが、私を選んで頂き小倉第一病院の一員となることが出来ました。後で聞いた話ですが、試験後に院内見学に参加したのが私だけで、それが決め手となったようです。あれから20数年、小倉第一病院一筋で働いてきました。
1995年臨床検査技師免許取得 同年小倉第一病院入職



1番ベスト

入職当時、エコー検査は腹部のみでした。心エコーを循環器のドクターが行っていたのですが、私たちが検査することになり、ドクターが検査をしている後ろからプローブのあて方、測定方法などを盗み見て勉強していました。当時のエコーレベルはその程度でした。病院の進歩とともに検査に対する要望が増え、腹部だけだったエコー検査が、今では心臓、下肢の血管、シャント、皮膚科領域、甲状腺など、様々な部位を検査するようになりました。新病院に移転し、新しい検査機器もいくつか増えました。検査の幅が広がれば、その分だけ診療に関われる機会が増えます。検査を行って問題解決の役に立った時、検査技師としてとてもやりがいを感じます。これからも、いろいろな事を求められると思いますが、切磋琢磨し、その日その日が自分の1番ベストになるよう頑張っていきたいと思っています。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1丁目12-14
TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

【今回の特集】2024年4月より小倉第一病院 副院長として着任しました糖尿病内科の藤本良士医師をご紹介します。

◎表紙イラストレーター／高橋あゆみ

発行／小倉第一病院

ARRIVAL

糖尿病内科
藤本良士副院長 着任

糖尿病内科 常勤医師加入による総合力向上

皆さん、こんにちは。2024年4月より小倉第一病院副院長として着任しました糖尿病内科の藤本良士と申します。私が専門にしている糖尿病は全世界で急速に患者数が増えている病気で、日本でも2016年の健康栄養調査によれば全国で2000万人の糖尿病とその予備軍の方がいるという結果で、これからすると日本人の5人に1人が実は糖尿病かその予備軍ということになってしまっています。糖尿病による合併症を防ぐためには、症状が何もないうちに生活習慣を是正して、必要

なら薬物療法も併用して血糖値を管理していく必要があります。最近では糖尿病の治療薬も非常に良い薬が増えてきているのですが、残念ながら糖尿病自体を完治するというのは今の医学では達成できていません。つまり、合併症が出ないように上手に付き合っていくのが、今の糖尿病治療ということになってしまいます。ただ生活習慣の是正と簡単には言いませんが、食事に気を配ったり運動を続けたりというようなことは短期間なら手間はなくてもいいかもしれませんが、長期間

続けるということになると決して楽ではありません。私たち医療者はそんな患者さんたちに生活習慣の是正のコツを伝えるのも仕事のうちと考えております。糖尿病の治療の主役は患者さん本人ですが、私たち医師以外にも当院では糖尿病療養指導士という専門の資格を持ったスタッフがおり、患者さんが今もそして将来も元気で過ごせるようお手助けします。何かお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご紹介ください。